

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	参加メンバーが一定化している為、他職種の参加を依頼して多様な意見をホームの運営やサービスに反映させて行く	議題等に合わせ(警察官や消防署)などに依頼を行い参加して頂く。又担当医師や看護師の参加依頼も行う。又地域での認知症ケアの拠点となれる様に話し合いを行う。	12 か月
2	13	利用者の年齢が高くレベルの低下が目立つ為に利用者個々の対応が出来るようになる	ケアの変更の共有がミス無く出来る様になる	アセスメントや生活状況から、利用者の体調や対応方法を検討し個々の利用者にあった日常生活が送れるようにする。変更した内容を理解し申し送りや介護記録を活用し行えるようにする。	12 か月
3	35	災害時等の誘導方法について、利用者のレベルや状態も変化にも対応できる様になる。また地域との協力体制作りを行える様にする	避難訓練や火災訓練を近隣の方と行える様になる。又夜間等における防犯時の対策。	ホームでの避難訓練時近隣の方に声掛けを行う。又定期的に利用者等の状態の把握を行う。防犯時のマニュアルの作成を行い定期的な見直しや訓練も行う。	12 か月
4	34	利用者の身体状態も低下し急変する可能性が出て来ている、応急手当や初期対応が出来るように技術の向上し実践力をつける	研修の参加等にて個々の技術や知識の向上	体調の変化や急変時の対応をスタッフ全員が出来るようになる。又申し送りや介護記録等を用いて利用者の体調の変化を把握出来る様にする。個々の技術や知識の向上をもち日常生活に役立てる。	12 か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。